



母たちの神 比嘉康雄展

Maternal Deities : Yasuo Higa Exhibition

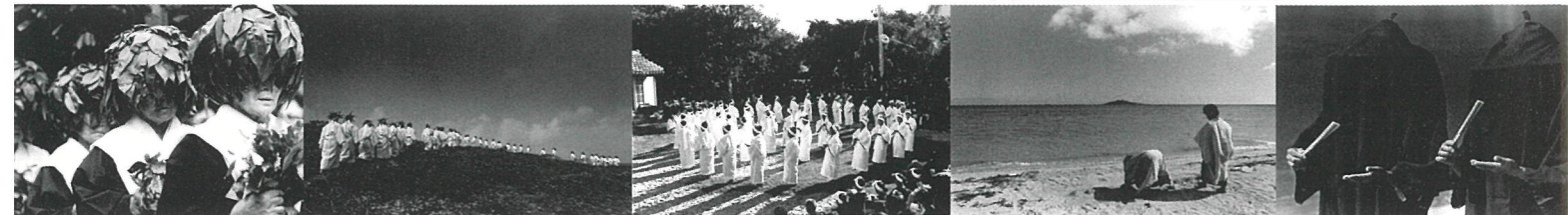
沖縄県立博物館・美術館 企画ギャラリー 1・2
Exhibition Gallery 1 & 2, Okinawa Prefectural Museum & Art Museum

2010.11.2 [tue] - 2011.1.5 [wed] 開館時間 9:00 - 18:00

*金・土は 20:00 まで(入館は閉館30分前まで) *月曜休館(2011年1月3日は開館、翌4日は休館いたします)

一般 / 1,000(800)yen, 大学生・高校生 / 700(560)yen, 中学・小学生 / 300(240)yen

* ()内は、前売り及び20名以上の団体料金



ミュージアムショップゆいむい, リウボウサービスカウンター(パレットくもじ8F), コープ
プレイガイド: あぶれ, ファミリーマート各店, ローソン各店, ジュンク堂書店 那覇店, ブックスきょうはん
美浜店・一日橋店・豊見城店, 宮脇書店 とまりん本店, TSUTAYA 那覇新都心店・首里店

【後援】 沖縄県写真協会, 全日本写真連盟沖縄支部, 沖縄県文化協会, NHK 沖縄放送局, 沖縄テレビ放送株式会社, 琉球放送株式会社, 琉球朝日放送株式会社, (株)エフエム沖縄, 株式会社ラジオ沖縄, 沖縄タイムス社, 琉球新報社, タイフーン fm, 朝日新聞社, 日本経済新聞那覇支局, 株式会社平凡社, 株式会社日本カメラ社, 株式会社学研マーケティング (CAPA), 南城市, 宮古島市, 石垣市 【主催】 沖縄県立博物館・美術館 / 沖縄県教育委員会 【特別協力】 比嘉康雄展実行委員会

母たちの神 比嘉康雄展

Maternal Deities : Yasuo Higa Exhibition

比嘉康雄（ひが・やすお）は、1968年のB52爆撃機の墜落事故をきっかけに、警察官の職を辞して写真家となりました。激動期の沖縄を象徴し、戦後沖縄を代表する写真家の一人と言えるでしょう。

初期には、沖縄の社会的な現状に目を向けましたが、宮古島の祭祀との出会いに衝撃を受け、琉球弧の祭祀世界—沖縄の古層に、沖縄人の生活・文化の根となる思想を求めていきました。

本展では、比嘉が生前に出版のため編纂した「母たちの神」—琉球弧の祭祀を網羅した写真群—を中心に紹介しながら、比嘉康雄が求めた思想を芸術、民俗、哲学などの各方面から、多面的に検証いたします。



Yasuo Higa left his job as a policeman and became a photographer after the crash of a B52 bomber at Kadena Air Base in 1968. He may perhaps be described as one of post-war Okinawa's most important photographers, symbolizing the island during a period of upheaval.

In his early period he focused on the social situation in Okinawa, but an encounter with rituals on Miyakojima made a deep impression and he turned to the spiritual world of the Ryukyu Island Arc and

the history of Okinawa, seeking out the ideas that lie at the root of the lifestyle and culture of Okinawan people.

This exhibition mainly features Maternal Deities, a collection of photographs encompassing the rituals of the Ryukyu Island Arc that Higa compiled for publication before his death, while validating the ideas he sought out from multiple perspectives, including artistic, folklore, and philosophical aspects.

関連シンポジウム

「今、なぜ比嘉康雄か」

コーディネーター：後田多敦

パネリスト：安里英子, 翁長直樹, 高良勉,
比嘉豊光

11月7日(日) 14:00～17:00(開場 13:30)

会場：博物館講座室

*本展の観覧券, または半券が必要です。

「生きること, 祭ること, 迎えること —琉球弧の祭祀世界と生死観—」

●第1部 映像上映
・大重潤一郎「沖縄久高島・
原郷ニライカナイへ—比嘉康雄の魂—」
・比嘉豊光「比嘉康雄」

●第2部 シンポジウム
コーディネーター：安里英子
パネリスト：赤嶺政信, 阿満利麿, 稲福みき子,
奥濱幸子, 西谷修

12月5日(日) 13:00～18:00(開場 12:30)

会場：講堂

*本展の観覧券, または半券が必要です。

「比嘉康雄, その〈写魂〉と〈写今〉 —沖縄写真史の中で—」

●第1部 対談 東松照明 × 仲里効

●第2部 シンポジウム

コーディネーター：大城仁美

パネリスト：赤坂憲雄, 小原真史, 小橋川共男,
土屋誠一, 仲里効

12月25日(土) 14:00～17:00(開場 13:30)

会場：講堂

*本展の観覧券, または半券が必要です。

アクセス

- バス
 - 【那覇空港発】
 - 99番線 おもろまち3丁目バス停下車 徒歩5分
 - 120番線 上之屋バス停下車 徒歩10分
 - 【市内線】
 - 3・7・10番線 県立博物館前バス停下車
 - 6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車 徒歩5分
 - 【市外線】
 - バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車 徒歩10分
 - 国道58号経由 上之屋バス停下車 徒歩10分
 - おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車 徒歩3分
- 沖縄都市モノレール
 - 【ゆいレール】 おもろまち駅下車 徒歩10分

